

公園拡張をきっかけとしたみんなで進める公園づくり



**特集：一部開園！
どんな公園にしていく？**

新時代の公園のコンセプトとは？

3/30に実施予定の「一部開園イベント」を機に順次開園区域を広げていく玉川野毛町公園拡張予定地。これまで、「ともにつくる、ともにあゆむ公園づくり」として区民と事業者、区が協働で進めてきた公園づくりは、新時代の公園のあり方実現に向けて一つの山場を迎えようとしています。あらためて、玉川野毛町公園が目指す新時代の公園のコンセプトとはどういったものなのか？今号のパークらぼ通信で迫ります。

住民協働で進めてきた、「公園づくり」「仕組みづくり」「組織づくり」

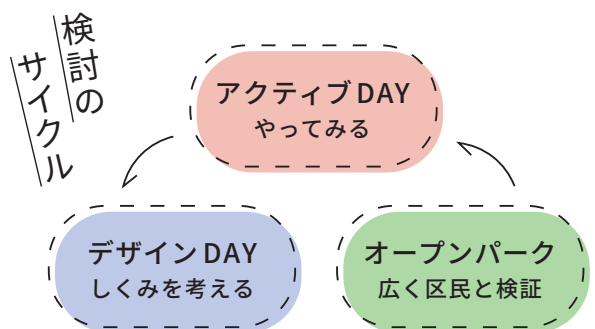
玉川野毛町パークらぼの取り組み（令和3（2021）年9月～）では、ワークショップ実施日数99日（アクティブDAY、デザインDAYの合計）、延べ参加人数13,913人（実績は共に令和6（2024）年3月15日時点）。多くの人々が関わり、公園のあり方を話し、対話を通して公園の目指すべき姿をまとめてきました。



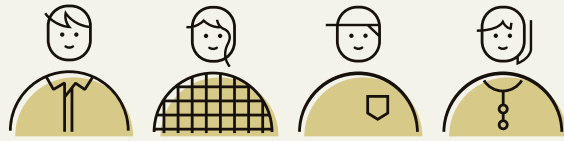
目指すべき姿：いつもいつまでも、100年後も地域に愛される「暮らしの舞台」としての公園

100年後も地域に愛される公園を目指し、古墳をランドマークにし、活発に活動できる既存の公園をいかしつつ、官舎跡地の大きな樹木や貴重な草地を尊重した公園とすることになりました。地域とのつながりをもち、暮らしの舞台としてどう使うか、つくり込みすぎず人との関わりによって少しずつ公園をはぐくみ、社会の時勢に合わせて日々試行錯誤しながら区民と事業者、区が協力する公園を目指しています。

パークらぼメンバーの登録者数は318名になりました！



コンセプトブック 編集の道のり



コンセプトブックは 住民協働の取り組みの方向性を示すもの

コンセプトブックは、玉川野毛町公園の住民協働の取り組み「玉川野毛町パークらぼ」とはどんな取り組みなのか？ということをも住民と行政が共に考え、まとめられたものです。区民がどのような公園を望んでいるのか、区民と区役所はどのように協働して、どのような公園を目指すのか？区民はどのように関わるのか？たくさんの議論を重ね、令和5（2023）年6月から始まったコンセプトブック編集会議から回を重ね、令和6（2024）年3月10日に完成しました。

6/10(土) デザインDAY

第1回 コンセプトブック編集会議
公園運営の住民協働のイメージを共有しました

7/15(土) デザインDAY

第2回 コンセプトブック編集会議
こんな公園にしたいという理想像を共有しました

9/9(土) デザインDAY

第3回 コンセプトブック編集会議
理想を実現するための住民協働のアクションを共有しました

10/14(土) デザインDAY

第4回 コンセプトブック編集会議
住民協働の公園運営の区と区民の役割を共有しました

8/5(土) デザインDAY

玉川野毛町パークらぼを伝える-コンセプトブックを考える-
コンセプトブック編集会議に参加していない方も含めて、中間報告と意見交換をしました

3/10(日) 玉川野毛町パークらぼ区民の会 設立総会

組織の立ち上げ/総会

コンセプトブック最終案の内容を確認・共有しました

12/9(土) デザインDAY

第5回 コンセプトブック編集会議
住民協働の公園運営で区民が心がけることを共有しました



コンセプトブック編集会議

コンセプトブック編集会議に参加したのは、公園の運営を従来のように行政任せではなく区民が主体的参画を旨とする「玉川野毛町パークらぼ推進準備会」に参加した公園の近隣の方々です。

区民とのワークショップでの意見交換やアンケート等を踏まえて世田谷区が策定した「玉川野毛町公園 拡張事業基本計画」や「玉川野毛町公園 拡張事業基本設計」の内容をベースに、公園の運営、取り組みはどのようなものであるべきかということを中心に議論を重ねてきました。

新時代の公園のコンセプトとは？

玉川野毛町パークらぼの取り組みは「100年後もより良い公園を目指して、社会の時勢に合わせ、日々試行錯誤しながら区民と事業者、区で協働の公園運営にあたる」取り組みです。これまで行政任せにしてきた公園の管理運営の一部を区民も担うことで、今までにない公園を目指そうと始まった公園づくりの取り組みから一歩踏み込んで、いかに区民が関与するかという視点でより具体的に取りまとめました。コンセプトブックでは、こんな公園にしたい「理想の公園像16」、「玉川野毛町パークらぼの住民協働の行動」、「区の役割、区民の役割」、みんなにとって理想の公園であるために「心がけること」がまとめられています。住民協働で運営される公園は、「公共財であること」の理解のもと、「区民による活動があること」、「互いの立場を理解すること」、参画するものは「対話による合意形成を目指すこと」、「試行的な取り組みがあること」ということが書かれています。コンセプトブック作りを通して参加者は、公園を暮らしの舞台としてどう豊かに使うか、区民や事業者、世田谷区で試行錯誤しながら公園を育てていく取り組みにチャレンジすることを改めて確認しました。



二次元コード

コンセプトブックは、左の二次元コード（ウェブサイト）からダウンロードできます



玉川野毛町パークらぼの
検討サイクル

区民発意で
やってみる

区民と行政で
一緒に考える

公園利用者みんなで
検証・改善



玉川野毛町パークらぼ「区民の会」の発足

玉川野毛町パークらぼ区民の会は、玉川野毛町公園及びその周辺地域において、世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどりと歴史・文化を区民の手で大切に育み、100年後も地域に愛される公園を目指し、令和6(2024)年3月10日に設立されました。区民ができる、地域に根ざした実践的活動を推進し、世田谷区や事業者等との協働により玉川野毛町公園等の運営に参画する新しい公園を、みんなで一緒に試行錯誤しながら作っていくことを目的に活動していきます。

玉川野毛町パークらぼ推進準備会－規約策定ワーキンググループの取り組み－

区民主体の組織設立に向けて、玉川野毛町パークらぼ推進準備会（以下準備会）が令和4(2023)年5月21日に設立されましたが、準備会では、話し合いを重ねていくうちに正式に組織化されてからの、①会の運営方法、②組織体制のあり方、③パークらぼで区民が活動するにあたっての条件等、次々と検討すべきテーマがあげられました。そこで準備会では、①～③についてを検討する規約策定ワーキンググループを11月に立ち上げ、計6回詳細に検討をしてきました。その検討結果を準備会で報告し、さらに意見を反映しながらブラッシュアップし、無事に規約も完成。正式に『玉川野毛町パークらぼ区民の会』設立の運びとなりました。

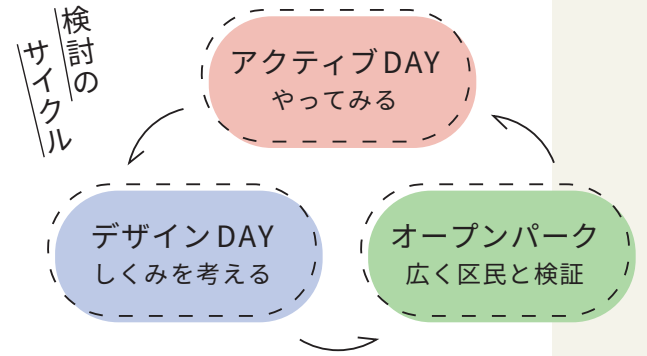


やってみて〇〇がわかった

経験的学習がもたらしたパークらぼの進化



玉川野毛町公園パークらぼの取り組みの特徴は、区民発意でやってみて、区民と行政と一緒に考え、公園利用者みんなで検証・改善するという「玉川野毛町パークらぼの検討サイクル」をぐるぐる回して、話し合いと実験を繰り返しながら、気づいたことを次に繋げていくことです。今回も数ある取り組みの中からピックアップしご紹介します。



地域の力を音楽に込め、「循環」を表現する試み

秋の夕暮れの拡張予定地。素敵な大人のジャズが、チーム循環のとりもつご縁で、隣接する保育園の先生方とパークらぼメンバーのカルテットで奏でられました。企画のスタートは、「地域で知恵や特技も循環して、豊かな暮らしを楽しめたら良いな」というチーム循環の話し合い。ヴァイオリン、キーボード、アルトサックスは保育園の現役や退職なさった先生たち。遠方から、この日のためにはるばると来てくださった元・先生も。そしてヴォーカルは、我らがパークらぼのメンバー！当日は、樹木に飾り付けたイルミネーションの光も美しく、お世話になった先生方に会いに来た親子連れもたくさんご参加くださり、と公園が地域の施設と連携しての取り組みとなりました。



子どもたちにとってのあそびとは？

これまでキッズパークチームは、様々な遊びにチャレンジしてきました。昔ながらのベーゴマやシャボン玉遊び、防災の視点で公園を見て回る為の宝探しゲーム、四季を感じながら公園を散策するネイチャービンゴなど。色々な遊びを試していく中で見えてきたことは、子ども達は大人が準備した遊びだけではなく、自らが自然の中で見つけた遊びを楽しんでいるという事です。丘を見つけるとそこから滑り降りる地形遊び、枯れ枝を拾って作る秘密基地遊び、虫を採って遊ぶなどです。この公園ならではの遊びを体験してもらいたいです。

公園のみどりの源を深掘り！—学びの会の実践—

生きもの調査チームは、拡張予定地内で自然観察を毎月行っています。活動の中で拡張予定地の生きものたちのつながりに関心が芽生え、公園の管理にも活かせる学びの場になるのでは？と、11月のオープンパークで「知りたい！土の中の生きものから見る自然」という学びの会を実施しました。専門家とともに拡張予定地内の土壌動物を観察し、森の成長と土壌環境の関わりについて学びました。参加者の皆さんが目を輝かせて顕微鏡を覗く姿がとても印象的でした。今後も公園のみどりについて深く学ぶ場を企画・実践し、公園づくりにいかしていきたいです。





＼一部開園直前！/ 設計意図が宿る ディテールを見る

工事が進み一部開園を控えた玉川野毛町公園拡張予定地。
設計された E-DESIGN の担当者の方に設計意図を
解説していただきました。

公園のカタチ



古墳をランドマークに据えた公園計画

拡張予定地の草地の広場に立つと、かつては見通しが効かなかった場所の先に、野毛大塚古墳が大きく存在感を示しています。おおらかなマウンド地形の造成や広がりのある原っぱ空間の配置、回遊性を高める園路計画によって、いろんな場所から古墳を感じられる公園計画とし、工事を進めています。

豊かなみどりと歴史文化を繋いできたこの地域の新しい未来が見えてきます。

既存の自然環境をいかした空間から人為的な構造物へのグラデーション

自然環境に配慮し厳選された素材を用いて公園が形づくられている拡張予定地。園路には環境に配慮した透水コンクリートが使用され、柔らかな曲線が自然になじんだ景観をつくっています。一方人が滞留するスペースなどにはコンクリート平板舗装が用いられ、園路とは違う居場所がつくられています。通常植栽地と舗装の間には縁石などの見切り材が用いられますが、今回の設計では見切り材はできるだけ用いず、エッジが柔らかく自然になじみ、みどりを近くに感じる設えとしました。



おおらかなマウンド（築山）など 地形が作り出す変化に富んだ場所

拡張予定地の設計ではあえて高低差を整備しています。子ども達が登ったり遊んだりすることはもちろん、マウンドがあることで歩いていく先が全て見通せるのではなく、見え隠れなど回遊時の風景の変化（シークエンス）を楽しむことができる工夫をしています。

これまで公開されてきた設計資料の意図が、現地に来るとよく理解できます。ぜひ公園に足を運んでいただき、皆さんの目でディテールを確認されてはいかがでしょうか？



E-DESIGN
石原康宏

玉川野毛町公園拡張事業
の公園設計を担当

工事の進捗状況

現状の工事の進捗は、完成予想パースと比べてどのような状況でしょうか？

完成予想パース



完成予想パース



工事中の様子



工事中の様子

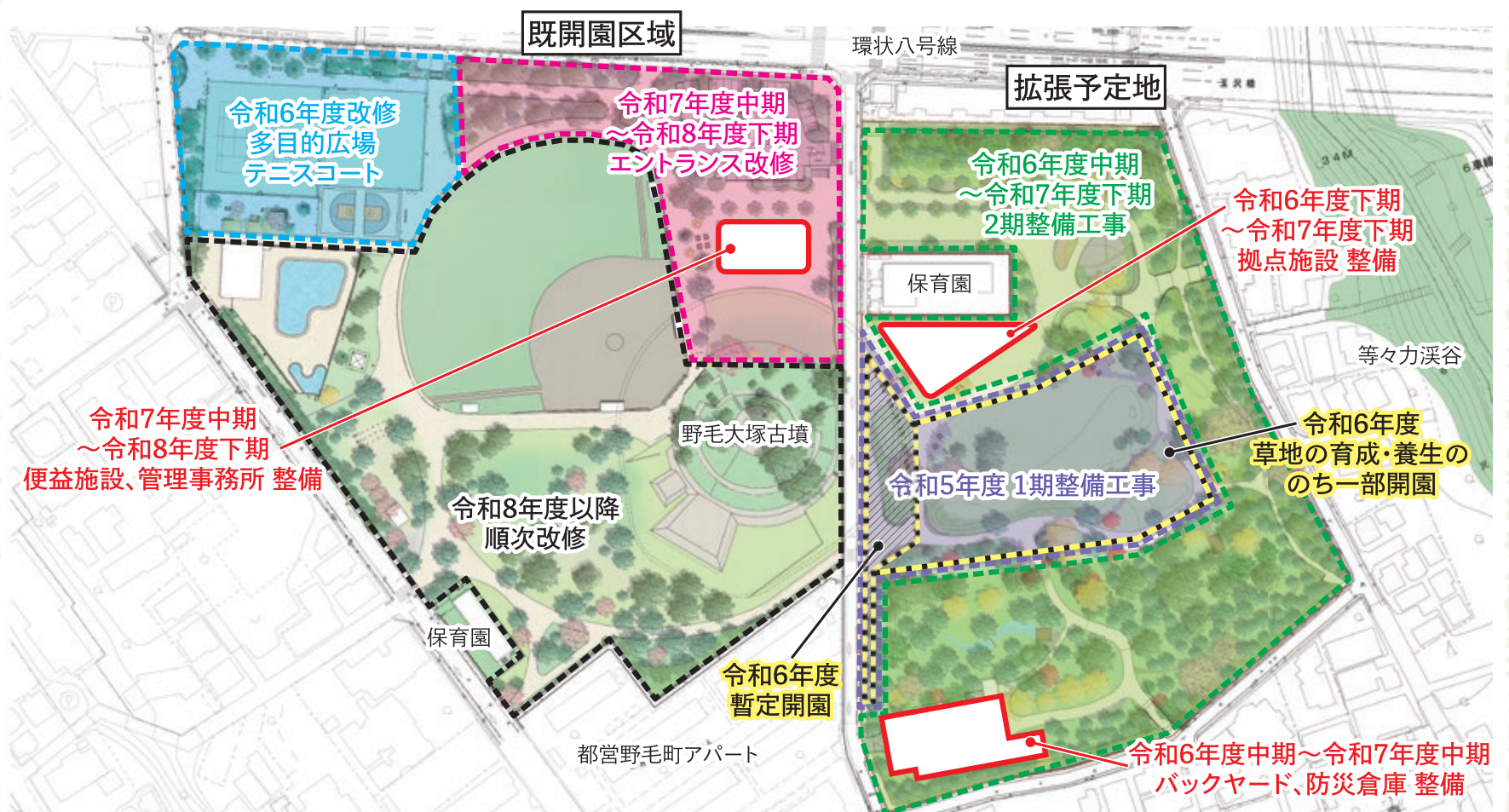


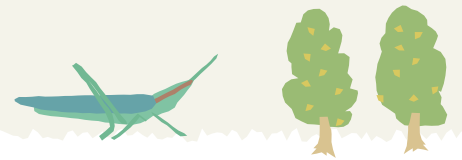
園路から草地の広場越しに古墳を見る。園路の舗装は透水コンクリートとし、ユニバーサルデザインと環境への配慮を行っている。

草地の広場から既開園区域の方向を見る。ランドマークとなる野毛大塚古墳を近くに感じられる原っぱ空間となっている。

公園の開園スケジュール

区民の皆さまと取りまとめました基本設計を踏まえ、詳細な工事等の検討をした結果、工事スケジュールの見直しを行いました。下記の図のとおり整備を進める予定としています。





10/1(日)、12(木)第26回アクティブDAY

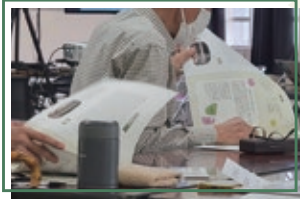
世田谷区の発行するてくてくブックや溪谷・古墳紹介のパンフレット等を活用し、等々力溪谷、野毛大塚古墳、国分寺崖線等についての説明・解説を行いました。



野毛大塚古墳に関する質問に答えるらぼメンバー

10/14(土) 第16回デザインDAY / 第4回コンセプトブック編集会議

コンセプトブックの進捗確認、パークらぼ運営におけるコンセプトブックの具体的な役割、コンセプトブック完成までのこれからの流れを確認しました。



メンバーの皆さんと一緒にコンセプトブック作り

10/14(土) スペシャルアクティブDAY

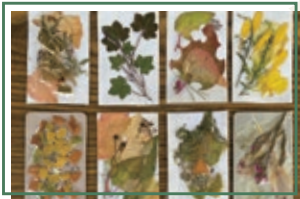
スペシャルアクティブDAYを開催し、夕暮れ時の拡張予定地で様々なプログラムを体験することで開園後の公園の使い方のイメージを共有しました。



夕暮れの公園でらぼメンバーが素敵な音楽をお届け

11/5(日) 9(木) 第27回アクティブDAY

11月のオープンパークに向けて、五感を使って拡張予定地の自然を楽しむ企画について話し合い「ネイチャービンゴ」を実際にやってみました。



子どもたちが作った「ネイチャービンゴ」

11/17(金)18(土)オープンパーク

公園や拠点施設設計の進捗報告、パークらぼメンバーによる活動発表や様々な企画を実施。今だからこそできる重機の乗車体験や、工事前最後の現在の風景を楽しみながら活動を行いました。



工事で働く車の乗車体験

12/3(日) 12/14(木) 第28回アクティブDAY

開けた場所でリードにつなぎ、ヤギのいる風景を楽しみながら、これからできる公園での動物とのふれあいのあり方を考えました。



中目黒どろんこ保育園のヤギ「ミルクちゃん」

12/9(土) 第17回デザインDAY / 第5回コンセプトブック編集会議 / 幹事会

10月編集会議を受けてのコンセプトブック更新の内容紹介、意見交換、完成までのこれからの流れ、活動状況と課題等を共有しました。



幹事会メンバーの話し合い

1/7(日) 第29回アクティブDAY

昨年に引き続き、パークらぼ書初め大会を開催しました。拡張予定地や活動への想いを、墨に込めて思い思いに書きました。



それぞれの想いを半紙に

2/4(日) 第30回アクティブDAY

環境意識向上を目的として活動している東京都市大学のISO委員会の学生と今後の連携の可能性について意見交換を行いました。



近隣の学生との交流も

2/10(日) 第18回デザインDAY

「柔軟な使い方のできる家具・備品のあり方を考える」として、具体的な機能にあわせてみんなが柔軟に使える什器(家具・道具)や備品のあり方などについて意見交換しました。



建築・ランドスケープデザインの説明を聞き意見交換

3/3(日) 第31回アクティブDAY

どんぐりプロジェクトがフキノトウ摘み体験のトライアル。たくさん育ったフキノトウを独り占めせず、みなで分かち合うこともパークらぼ活動で大切にすることの一つです。



フキノトウ摘み体験

3/10(日) 玉川野毛町パークらぼ区民の会 設立総会

昨年5月21日のキックオフ・ミーティングで立ち上がったパークらぼ推進準備会。8ヶ月の時間をかけて、コンセプトブックを作り、規約をまとめ、いよいよパークらぼ区民の会として設立総会を行い、新たな歩みを始めます。



パークらぼ区民の会を設立

